

■ 会議録

◇件名 第1回 つるおかコンポスト利用促進検討委員会

◇日時 令和7年1月14日(金) 午後3時30分から
午後5時 まで

◇場所 つるおかエコファイア 3階研修室

◇出席者 別紙のとおり

◇記録者 下水道課浄化センター 主任 佐藤拓哉

■国内下水汚泥の利用状況について

JS・島田氏 下水汚泥のリサイクル率は74%。建設資材への利用が主で、緑農地への還元は14%と少ない。下水汚泥中の重金属は昭和50年代に比べて1/5~1/10程度に減少しており、近年はし尿や浄化槽汚泥よりも下水汚泥の方が重金属濃度が低い。菌体りん酸肥料が新設され、イメージの改善が図られた。①自治体が積極的に関わる ②民間のコンポスト施設は販売収入ではなく汚泥処分費で運営 ③需要の安定確保には3~5年必要 ④大規模農家をターゲットが需要拡大のポイント。汚泥の資源価値は約1万円/tといわれ、地域経済の視点でも経済効果が見込まれる。

■コンポストを使用した脱炭素の取組みについて

渡部副委員長 農林業から排出される温室効果ガスは全体の24%。二酸化炭素だけでなくメタン、亜酸化窒素も温室効果が高い。実証試験で無施肥、化学肥料、豚糞堆肥と比較して土壌から発生するガスを分析し、化学肥料が最も温室効果ガスが多かった。汚泥を肥料化しない場合は焼却することになる。コンポストを使うことで、焼却で発生する分も削減でき、脱炭素社会に貢献できる。

■意見交換

菅原委員 課題解決には、生産者だけでなく、作物を買ってくれる人がいないといけない。消費者はコンポストに対して「汚い」等のマイナスのイメージがあるはず。重金属の問題は今も払拭されていない。使いたい人がいても、大面積で使うのであれば機械散布できるようペレット状にしなければならない。リンやカリが輸入依存で値段が高くなってきているが、下水汚泥は人間が生活している限りなくなならないものなので、隠れた貴重な資源だと思う。

叶野委員 昨年利用したが振りにくさを感じた。風が吹けば隣の畑に飛んでしまう。それでもジャガイモ栽培では施肥効果を実感した。運ぶ手間やコストも重要。スマートテロワールの共同研究では、化学肥料を減らしてコスト削減できた。子供の頃からコンポストを知ってもらい、その子らが大人になった時には違ってくると思う。給食

の放送で流すのも良い。お便りを出せば、保護者も知るきっかけになる。ペレットになれば振りやすくなり、興味を持つ農家も増えるのでは。

山形県・高橋氏 輸入肥料の価格は今後下がる見込みはないので、低コストで供給できるのはメリットになる。イメージの話もあったが、花の栽培にも使える。ペレット化すると利用しやすくなるが、コストが上がるのが難点。

JA 鶴岡・渡部氏 どういった花の栽培に利用されているかまでは分からない。継続的に買っていたっている農家もいるが、花の栽培にはそこまで多く肥料を使うわけではないので、利用の増加につながるかは不透明。コンポストのイメージについては消費者だけでなく、スーパーや仲卸業者からの理解もまだ少ないと感じる。

JA 庄内たがわ・長南氏 JA 庄内たがわ管内では、藤島、羽黒、櫛引にある堆肥センターとの兼ね合いが大きくなってくる。コンポストを直接購入している方も数名はいるかと思うが、実質はゼロからのスタートとなる。

山口委員 本市では、国土交通省より補助金を頂き、低コストペレット化の実証事業を2か年で実施する。今年度は、ペレットの形状、性状、含水率の試験し、あわせて JA 鶴岡及び山形大学にご協力いただき散布試験と土壌分析を実施している。来年度は、施設整備の事業費、規模、生産コストを試算する予定。これらの実証結果はこの委員会の中で情報共有し、事業化に向けて課題を整理したい。

阿部委員長 大局的な話になるが、農林水産部長の岡部委員より、エコファーマーや特裁に近いような形など、コンポストを使った農業施策についてお話しいただきたい。

岡部委員 コンポストは有機栽培に使える肥料ではないが、減化学肥料として取り組むことは可能だと思う。いまま農家さんはコンポストに対して抵抗があるのか、イメージをお聞きしたい。

阿部委員長 高い肥料の代替、資源循環、色々なアプローチがある。お話しいただいたこの中にヒントがあり、利用促進に向けて大きな柱立てができそうだと思う。渡部副委員長より、皆さんの意見を聞いて、考えをお話しいただきたい。

渡部副委員長 消費者のイメージについては知らなければならないことであり、場合によっては変えていかなければいけない。コストや数字だけで考えるべきか、農家にとってコンポストを使うことは生産物を作るだけしかメリットがないのか、一度考えてもらいたい。社会に対する効果や貢献を価値化できるのであれば、その分安くするとか、市から補助するとか、そういう観点も入れていただきたいと思う。